



西国三十三所草創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Sanjusansho

〈報道関係各位〉

2017年(平成29年)4月4日
西国三十三所礼所会

西国三十三所草創 1300 年記念事業 第二十二番札所「総持寺」 ご本尊のご開帳と、西国霊場お砂踏を実施 2017年(平成29年)4月15日(土)～21日(金)

西国第二十二番札所「総持寺」(大阪府茨木市)は、西国三十三所草創 1300 年記念事業の一環で、ご本尊「千手観音像」(秘仏)のご開帳と、西国巡礼と同じ功德が授かると古来より伝わる「西国霊場お砂踏」を、4月15日(土)～21日(金)の期間、開催します。

◆ 7日間だけの特別公開!ご本尊「千手観音像」をご開扉

本堂内陣にて、総持寺の秘仏・ご本尊「千手観音像」をご開帳し、特別に公開します。
「千手観音像」は、平安時代の作で、観音様が亀の背に立つ珍しい姿をしています。

◆ 1日で巡る西国三十三所観音霊場「西国霊場お砂踏」

西国三十三所霊場のご利益が受けられる「お砂踏み」。西国三十三所境内地の砂を納めた白布を足元に踏みしめながら、各札所の御本尊の御影を拝むことで、一度の参拝で三十三カ所を巡礼したと同様の御利益が受けられると古来より伝わる行事です。



(写真左) ご本尊「千手観音像」(秘仏)
(写真右) 「西国霊場お砂踏」の様子

画像データは、下記サイトにてダウンロード用 jpg データをご用意しております。

TMオフィスサイト <http://www.tm-office.co.jp>

トップページ左「報道用画像データ」を以下ID、PWで開いてください

ID:press PW:press



西国三十三所草創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Sanjusansho

概要

◆会場：西国二十二番札所「総持寺」

所在地：大阪府茨木市総持寺 1-6-1

◆期間：2017年（平成29年）4月15日（土）～21日（金）

9：00～16：30

◆拝観料：500円

◆内容：**ご本尊「千手観音像」ご開帳**

本堂内陣にて、総持寺の秘仏・ご本尊「千手観音像」をご開帳し、特別に公開します。

「千手観音像」は、平安時代の作で、観音様が亀の背に立つ珍しい姿をしています。総持寺を開基した藤原山陰が幼き日に淀川に落ちた際、亀に命を助けられたため、総持寺建立を発願したことに由来しています。

西国霊場お砂踏

西国三十三所霊場のご利益が受けられる「お砂踏み」。西国三十三所境内地の砂を納めた白布を足元に踏みしめながら、各札所の御本尊の御影を拝むことで、一度の参拝で三十三カ所を巡礼したと同様の御利益が受けられると古来より伝わる行事です。

◆その他、春の総持寺は様々な行事を行います。

① 「山陰流庖丁式」開催

日時：4月18日（火）12：00～

観覧料：無料

場所：開山堂

全国の調理師が集まり、包丁さばきの妙義を奉納する伝統の「山陰流庖丁式」を行います。古式ゆかしい装束を着た調理師が、鯉や鯛などの魚に一切を手を触れることなく、庖丁と真魚箸（まなばし）を使ってさばきます。

これは、総持寺を開基した藤原山陰が平安時代に光孝天皇の命で、宮中の料理作法を大成し、我が国の「庖丁道の祖」として崇められていることから、ここ総持寺で毎年4月18日に全国各地の調理師により包丁さばきの妙義を奉納しています。庖丁式を無事につとめあげた調理師には、庖丁道山陰流宗家である総持寺から、庖丁道山陰流の免許の許し状が授与されます。



② 西国三十三所草創1300年「スイーツ巡礼」

この春、総持寺オリジナル「亀の恩返し」（かりんとう）を発売！

西国三十三所の各札所で長年愛される“お寺スイーツ”を楽しみながら巡礼してもらうのが「スイーツ巡礼」です。

総持寺では、オリジナルスイーツとして、「亀の恩返し

（さくら花林糖）」「亀の恩返し（梅かりんとう）」

（それぞれ80g、400円税込）を、3月から5月末まで

発売します。





西国三十三所草創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Sanjusansho

◆西国三十三所とは

718年（養老2年）、観音菩薩が人々を救うために示したと伝わる観音霊場のルーツです。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「札所」となって順番に参拝する巡礼文化を生み出しました。

その総距離は約1,000キロメートルに及び、和歌山県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県、兵庫県、岐阜県の2府5県を包括するように伸びています。その三分之一が中世日本の首都・京都に集中していることを背景に、「西国三十三所」が生んだ観音信仰と巡礼文化は全国に広がりました。

現在、観音菩薩の美しさは海外の注目も集め、多くの外国人が訪れる巡礼道になっており、「西国三十三所」は1300年という節目とともに新しい時代の扉を開きます。

「西国三十三所草創1300年記念事業」ロゴマーク
音様が三十三所巡礼道をまとうイメージを表現しています。



日本最古の巡礼所33寺院「西国三十三所」（都道府県別／数字は札所番号）

和歌山県	1番 青岸渡寺	2番 金剛宝寺(紀三井寺)	3番 粉河寺
大阪府	4番 施福寺	5番 葛井寺	22番 総持寺
	23番 勝尾寺		
奈良県	6番 南法華寺(壺阪寺)	7番 岡寺	8番 長谷寺
	9番 興福寺 南円堂		
京都府	10番 三室戸寺	11番 上醍醐 准胝堂(醍醐寺)	15番 今熊野観音寺
	16番 清水寺	17番 六波羅蜜寺	18番 六角堂 頂法寺
	19番 草堂 行願寺	20番 善峯寺	21番 穴太寺
	28番 成相寺	29番 松尾寺	
滋賀県	12番 正法寺(岩間寺)	13番 石山寺	14番 三井寺
	30番 宝厳寺	31番 長命寺	32番 観音正寺
兵庫県	24番 中山寺	25番 播州清水寺	26番 一乗寺
	27番 圓教寺		
岐阜県	33番 華厳寺		

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

西国三十三所草創1300年PR事務局（株式会社TMオフィス内） ほんば馬場・石原
TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 Email：saikoku33PR@tm-office.co.jp
URL：公式サイト <http://www.saikoku33.gr.jp/>（「西国三十三所」で検索）
1300年特設サイト <http://www.saikoku33-1300years.jp/>（公式サイトからリンク）